
R-18
正義のヒーロー
マイティウーマ
3
ひなえろん

登場キャラクター

マイティウーマン



怪人から人々を守る
クールビューティな
正義のヒーロー。
普段は学校の教師。
ヒーローであることは
皆には内緒。

スプリントガール・ミカ



マイティウーマンの妹。
姉と同じくヒーローとして
怪人と戦っている。
プライドが高く
人を寄せ付けないような
高圧的な態度を取る。

怪人ドクターヴェノム



怪人を作り出し
人間社会に
送り込む
諸悪の根源。
ヒーローの
研究をしている。

小野タケル



マイティウーマン
の生徒。
先生の正体が
ヒーローであること
を知っている。

前回までのあらすじ



①
ヴェノムに生徒（小野タケル）を
誘拐されてしまったマイティウーマン
助けたければ一人で
このドクターヴェノム様のところまで来い
場所は――――



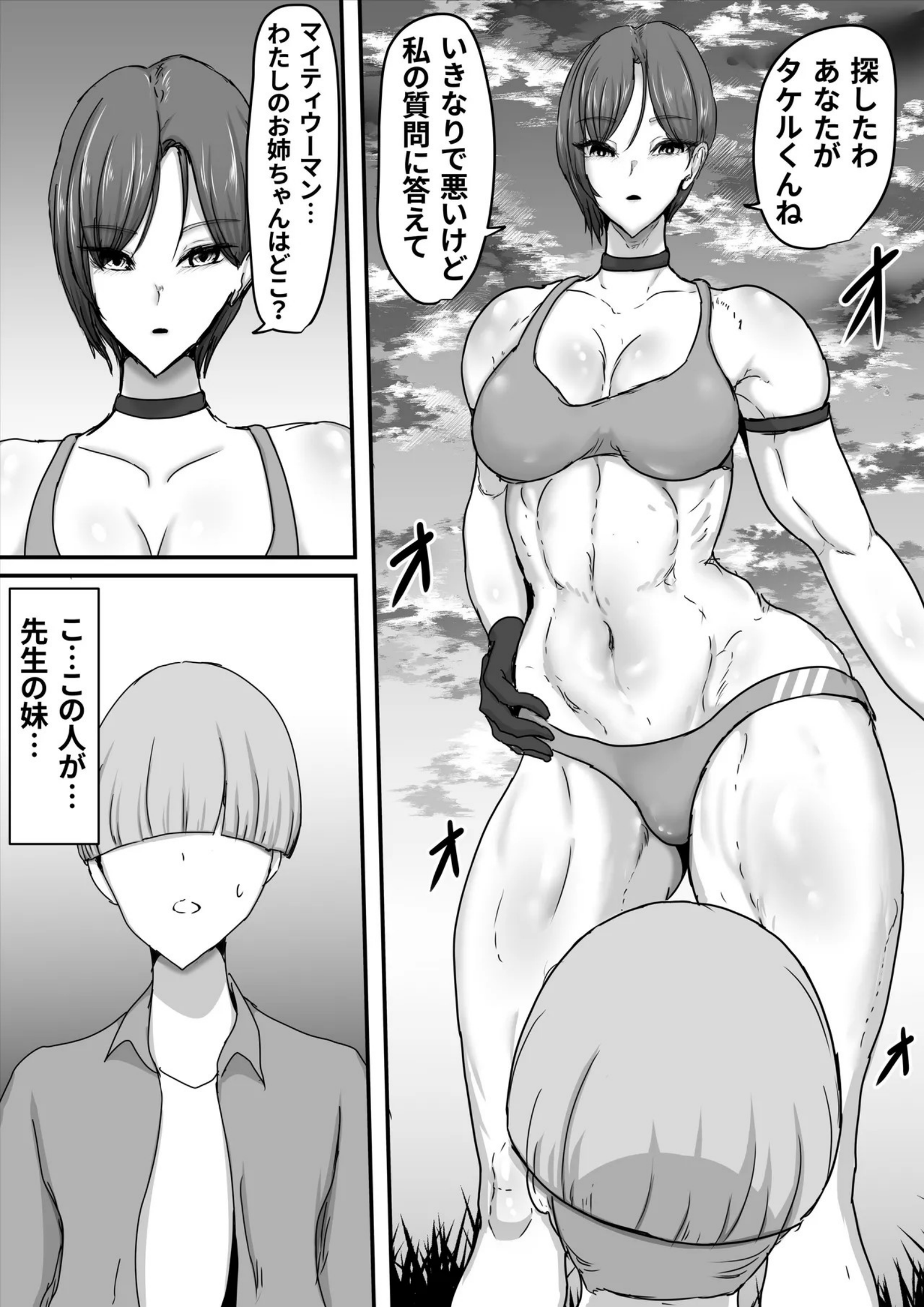
②
助けに向かうも
ドクターヴェノムの策略により敗北!
痛みさえ性的快感に
変わってしまうマゾメス体質に…!



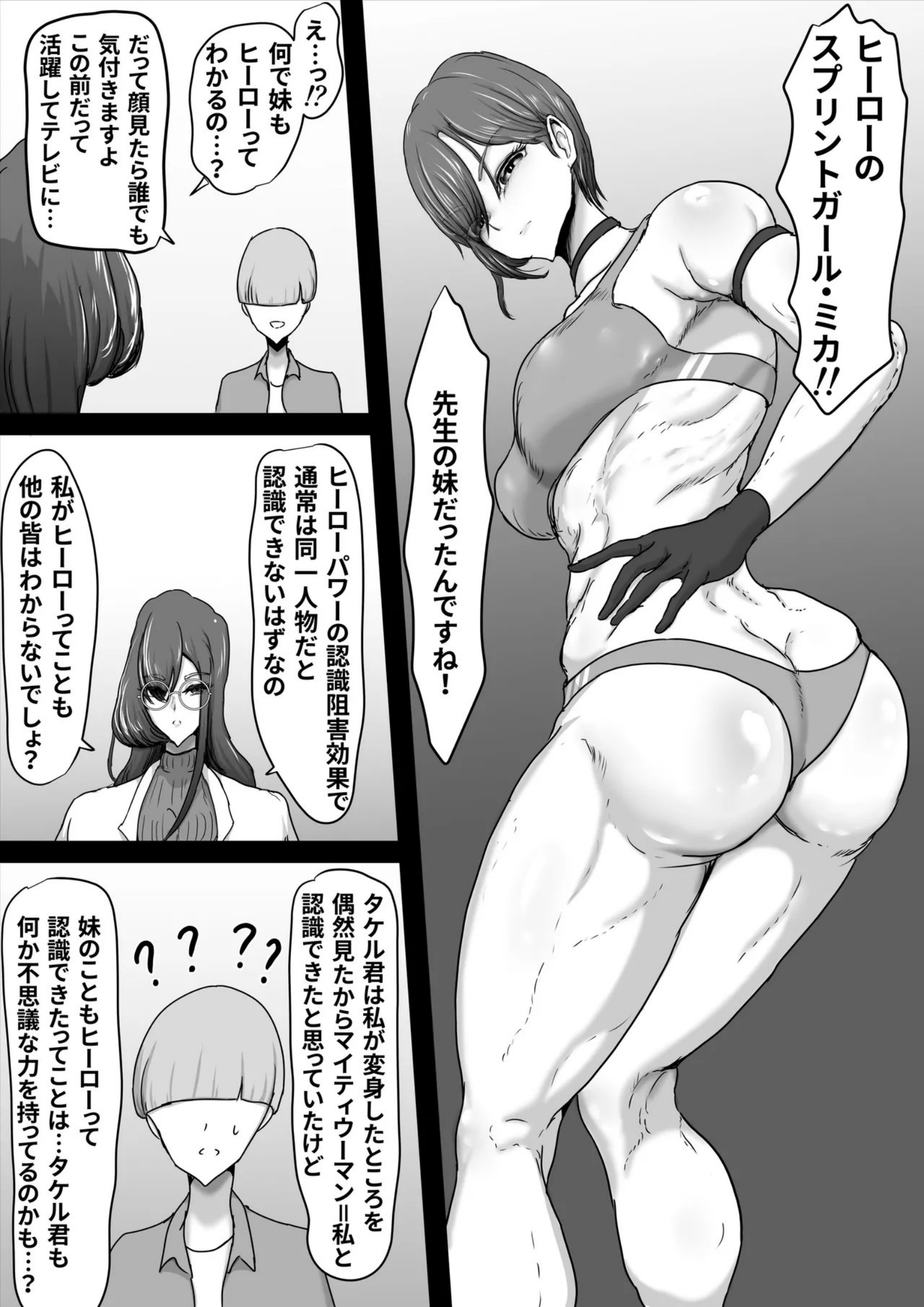
③
ヴェノムの研究材料として
扱われ様々な怪人に
陵辱され続けてしまう
マイティウーマン!



④
なんとか逃げ出したタケルは
その途中でとある女性ヒーローに
助けられる…その女性は
マイティウーマンの妹を名乗って
いて…?


探したわ
あなたが
タケルくんね
いきなりで悪いけど
私の質問に答えて
マイティウーマン…
わたしのお姉ちゃんはどこ？
こ…この人が…
先生の妹…


先生って兄弟いるんですか？
先生のことを知りたくて何気なく聞いた質問だった
妹が一人いるわ
見てみる？
うふふ
どう？カワイイでしょ？
…先生もプリクラやったりするんですね…
え？どうして？
いや…意外だなって…ていうか先生の妹って…
＼プリクラ手帳～／


ヒーローのスプリントガール・ミカ!!
先生の妹だったんですね！
え…っ!?
何で妹もヒーローってわかるの…？
だって顔見たら誰でも気付きますよ
この前だって活躍してテレビに…
ヒーローパワーの認識阻害効果で通常は同一人物だと認識できないはずなの
私がヒーローってことも他の皆はわからないでしょ？
タケル君は私が変身したところを偶然見たからマイティウーマン＝私と認識できたと思っていたけど
？？？
妹のこともヒーローって認識できたってことは…タケル君も何か不思議な力を持ってるのかも…？

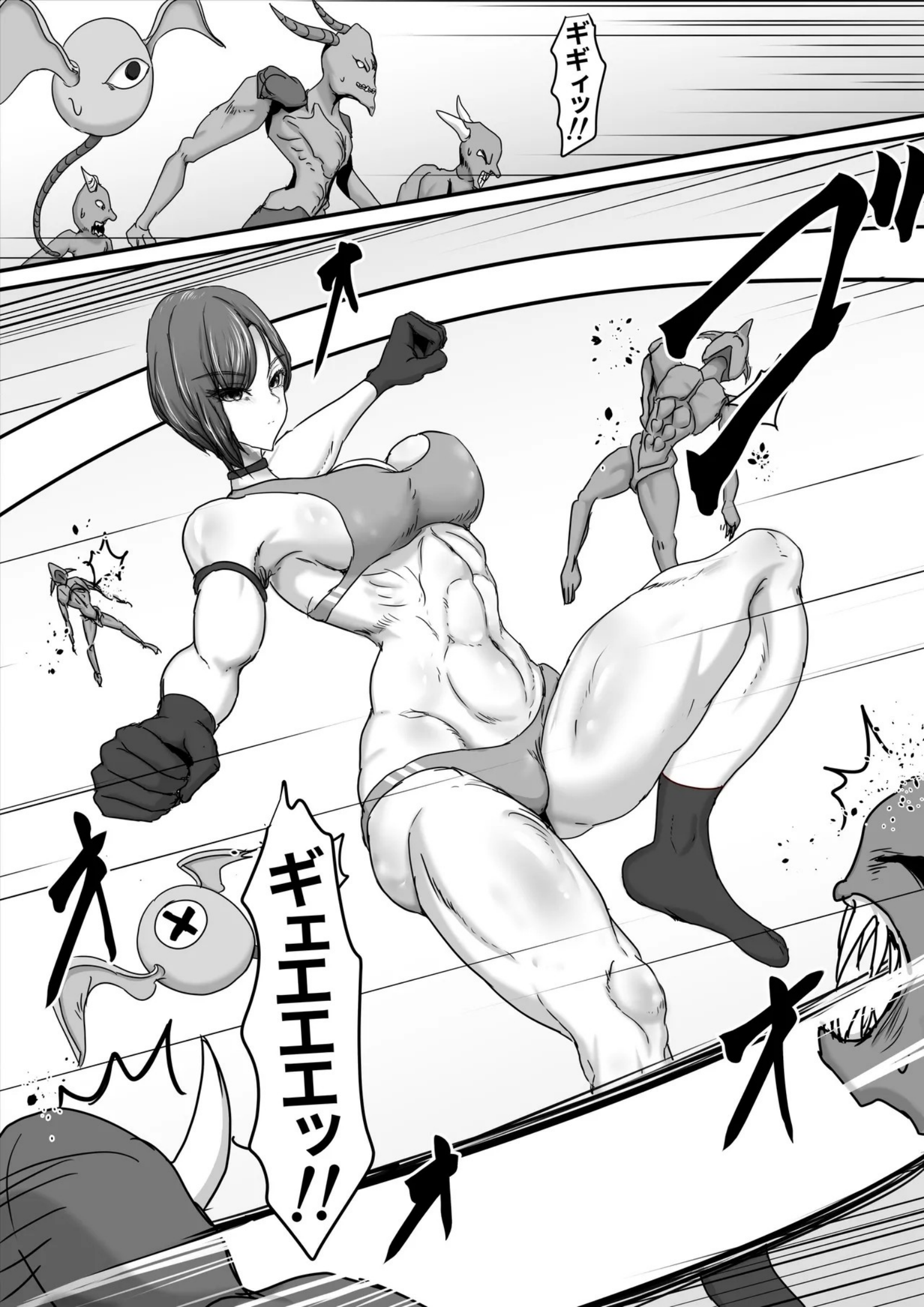

そんな…　まさか…
お姉ちゃんがやられて
捕まって……
すぐに助けに…！
待って！　怪人は罠を仕掛けてる
それで先生は
やられちゃったんだ！
しっかり対策しないと……
ギロ…
え？
手を握って
私一人じゃ
無理だって
言ってんの？
!?
そういう
わけじゃ…
わあぁぁっ！
ギュ
オッ


ここは…？
ふら…
ハア
ハア
ふら…
うわあ！
ウゥン…
何もない空間から…
何これ…!?
…え？
ウゥ…
怪人界と人間界をつなぐゲートよ
あとは私が何とかするあなたは帰りなさい
バシュッ
すぐに行ってしまった…なんか先生と違って…冷たいな…
ん？
あれ…？
あそこにあるのって…もしかして…っ
ゴオオオオ


ゴォ
お姉ちゃんは
絶対私が救ってみせる…っ！
二度とお姉ちゃんに
悲しい思いなんてさせないんだから…っ!!
警報怪人アラム
ヴーッ
ヴィーッ
敵影ヲ発見！
敵影ヲ発見！
各員 警戒態勢!!
ヴェノム様！
何者か…
恐らくヒーローが
近づいてきてます！
ヒヒヒ 来おったか！
ドクター ヴェノム


他のヒーローが救援にきたか…！
むしろ好都合!!
しかしワシの体力もちと限界
ザルヴォスちゃんもまだメンテ中だし…さてどうするか…
アハハ!!なんか楽しそうなことになってるじゃん！
あ！実験番号08!!何勝手に出てきて…
実験番号～？wなにそれまだ私に名前つけてなかったの？ウケるw
ここは私に任せてよ♪いいよね？
ヴェノム様♥

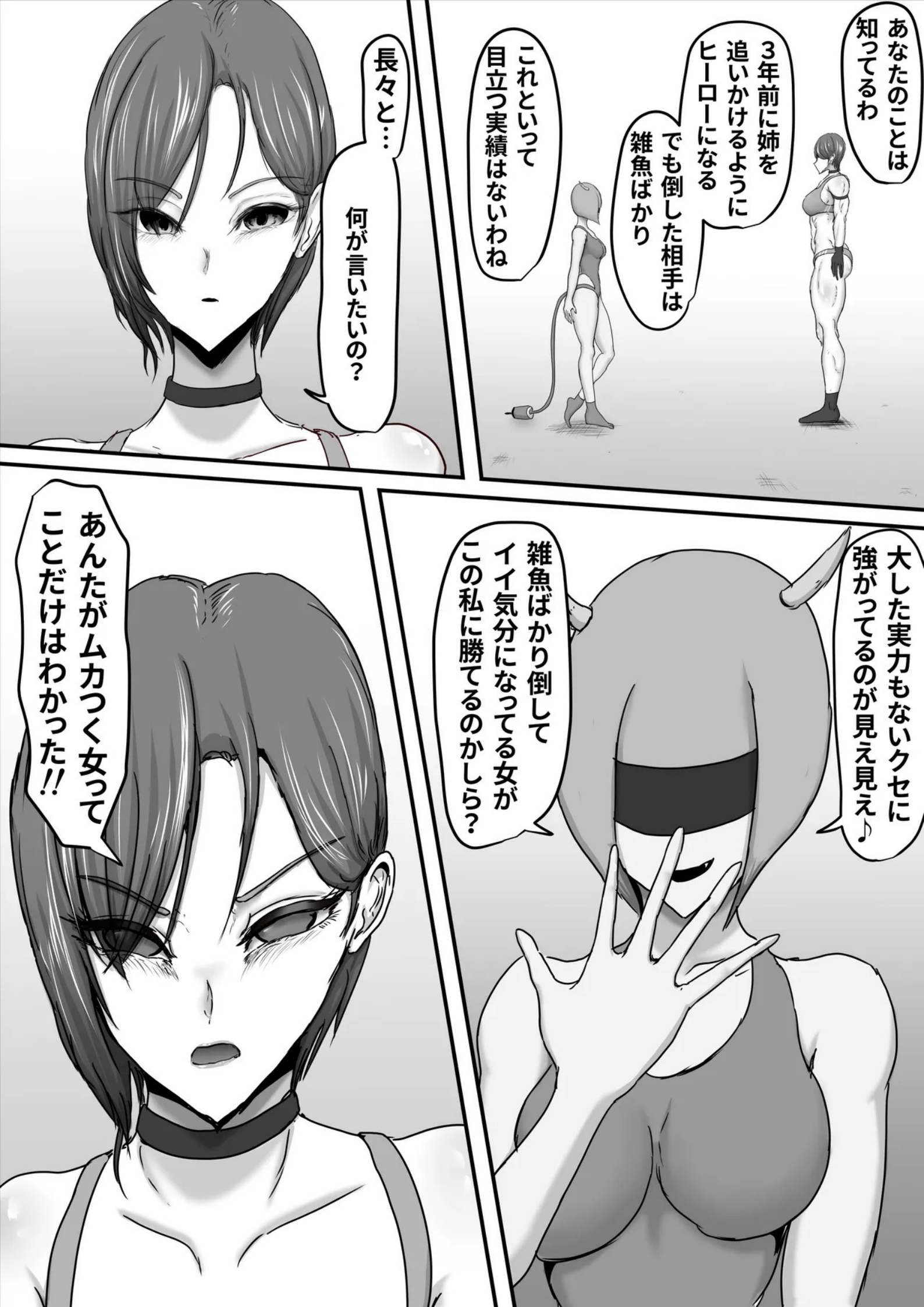

ギッ!?
ギギッ!?
イイイ
怪人研究所
ギイイィッ!!

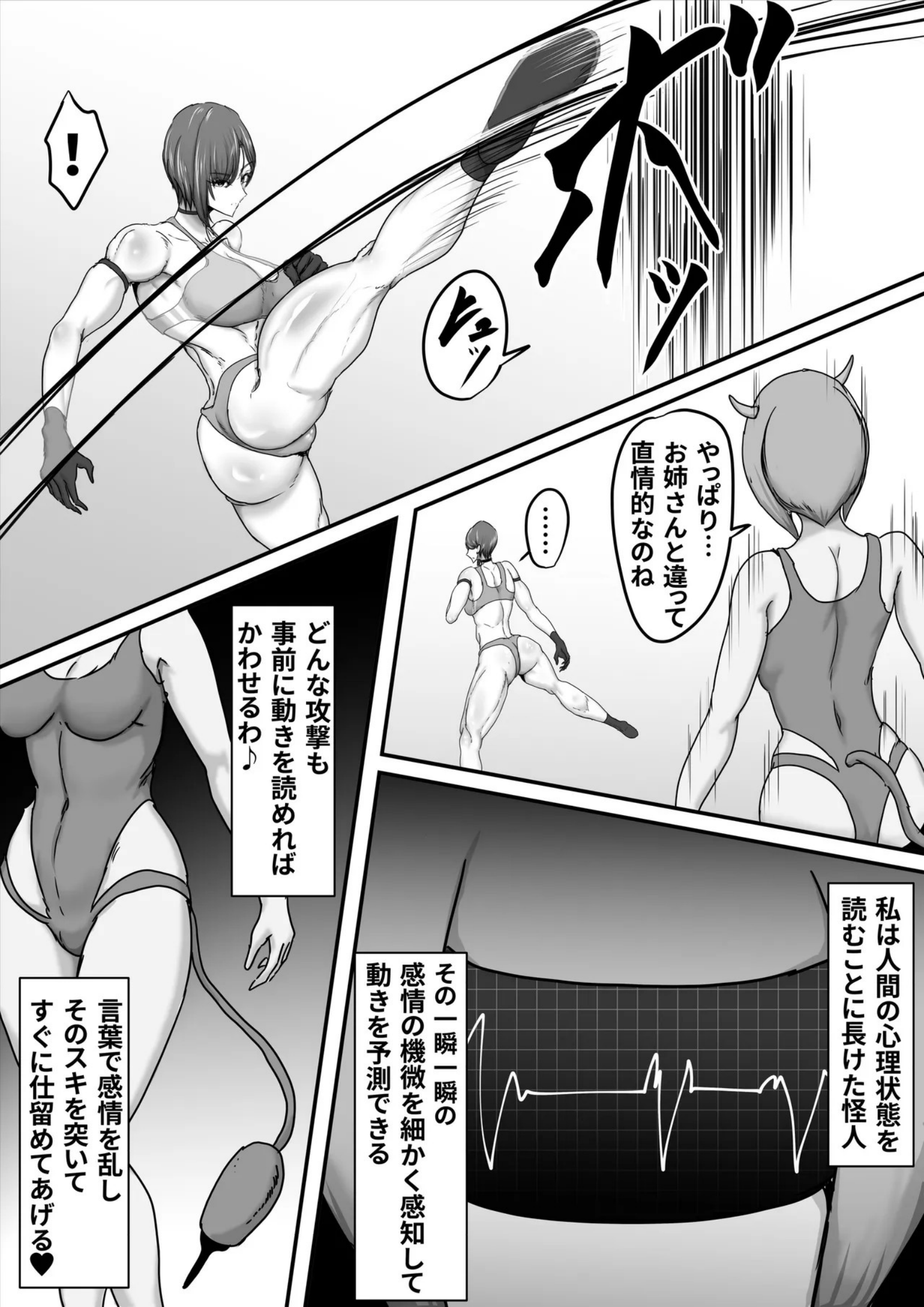

ギギィッ!!
ギェエエエッ!!


ヒュッ
トッ
何も無い空間…
向こうまで見渡せない…
こんな場所が
この建物の中に…？
ようこそ♪


そんな怖い顔しないでよ
はじめまして
私の名前はチェルシー
よろしくね♥
お姉さん
スタイルいいね～
嫉妬しちゃ～う
……


大丈夫なんですか？
あの怪人（チェルシー）一人で……
あのヒーローの正体もまだわかっていないのに…
あやつは『スプリントガール・ミカ』……マイティウーマンの妹よ
※透視追跡怪人アイ調べ
な…っ!?マイティウーマンの妹…!?
やっぱり相手させるにはまだ荷が重いのでは…？
ヴェノム様!?
…つまらん
…え!?
他のヒーローならまだ良かったものを……ぬか喜びさせおって…
？


あなたのことは知ってるわ
3年前に姉を追いかけるようにヒーローになるでも倒した相手は雑魚ばかり
これといって目立つ実績はないわね
長々と…
何が言いたいの？
大した実力もないクセに強がってるのが見え見え♪
雑魚ばかり倒してイイ気分になってる女がこの私に勝てるのかしら？
あんたがムカつく女ってことだけはわかった!!


ボッ
ヒュッ
！
やっぱり…
お姉さんと違って
直情的なのね
……
私は人間の心理状態を
読むことに長けた怪人
その一瞬一瞬の
感情の機微を細かく感知して
動きを予測できる
どんな攻撃も
事前に動きを読めれば
かわせるわ♪
言葉で感情を乱し
そのスキを突いて
すぐに仕留めてあげる♥

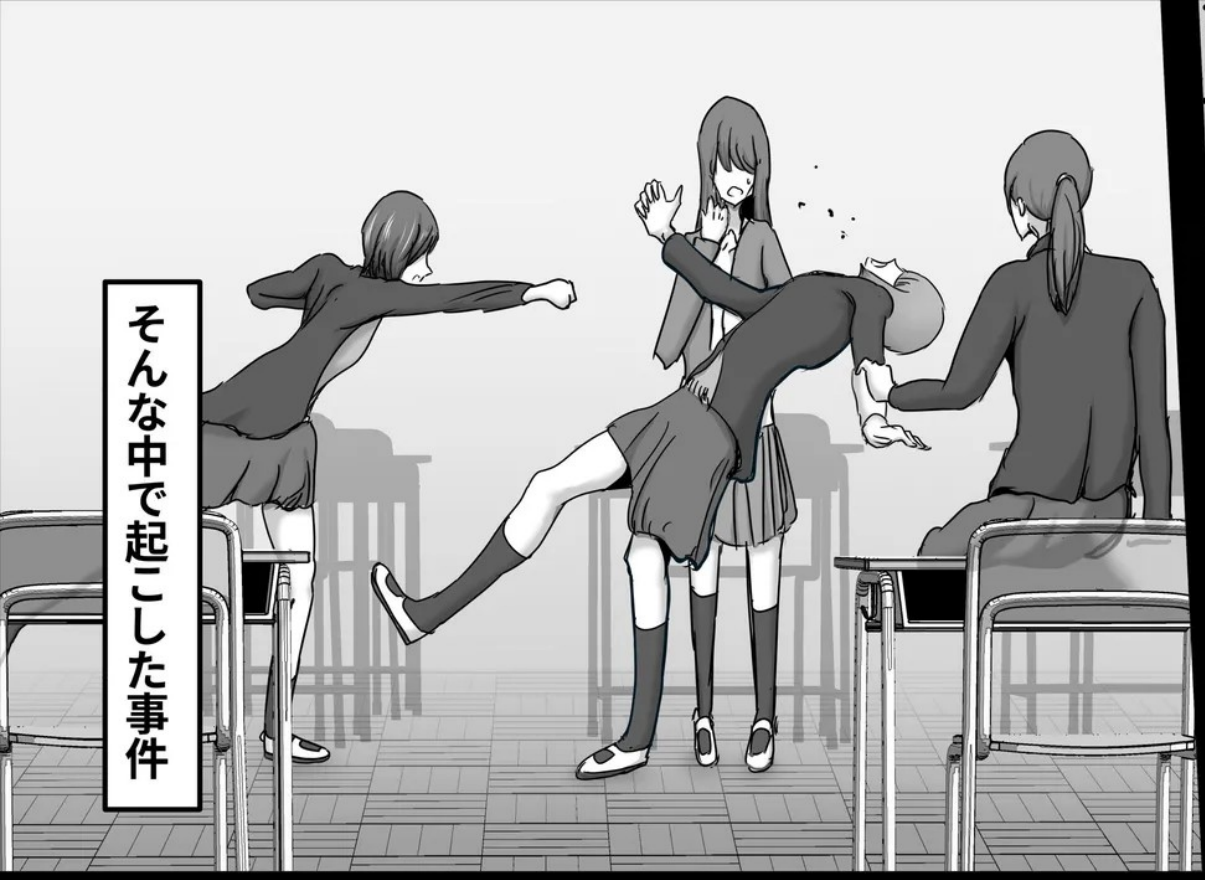

さぁどこからでもかかって……
メリッ…
!?
パァァァァン
スゥゥ…
マックススピード…
ドドド


あぁー!!
ほら言わんこっちゃ
ないですよっ!!
あのマイティウーマンの妹に
勝てるわけないでしょぉおおおっ!
スプリントガール・ミカ…
圧倒的な瞬発力とスピード
速さという一点のみなら
マイティウーマンをも
超える逸材だ
グッグッ…
オ
オ
オ


私は
何でもできる完璧なお姉ちゃんとは正反対
勉強も運動もなんにも出来なかった
独りでいることが好きでマイペース
愛想もなくて友達も少なかった
死ね
キモ
バカ
そんな私を
気に入らない子たちに
目をつけられることも多かった
いじめはしだいに
エスカレートした

人を嘲笑うような人間

反吐が出た



そんな中で起こした事件

私のような不良生徒
誰も理解しようとしてくれなかった

一匹狼なのに弱虫で
素直になれなくて
いつも道を踏み外しそうになった

でも
お姉ちゃんだけは最後まで
私を繋ぎ止めていてくれた

お姉ちゃんみたいになりたくて

完璧な姉を追うよう
私はヒーローになった

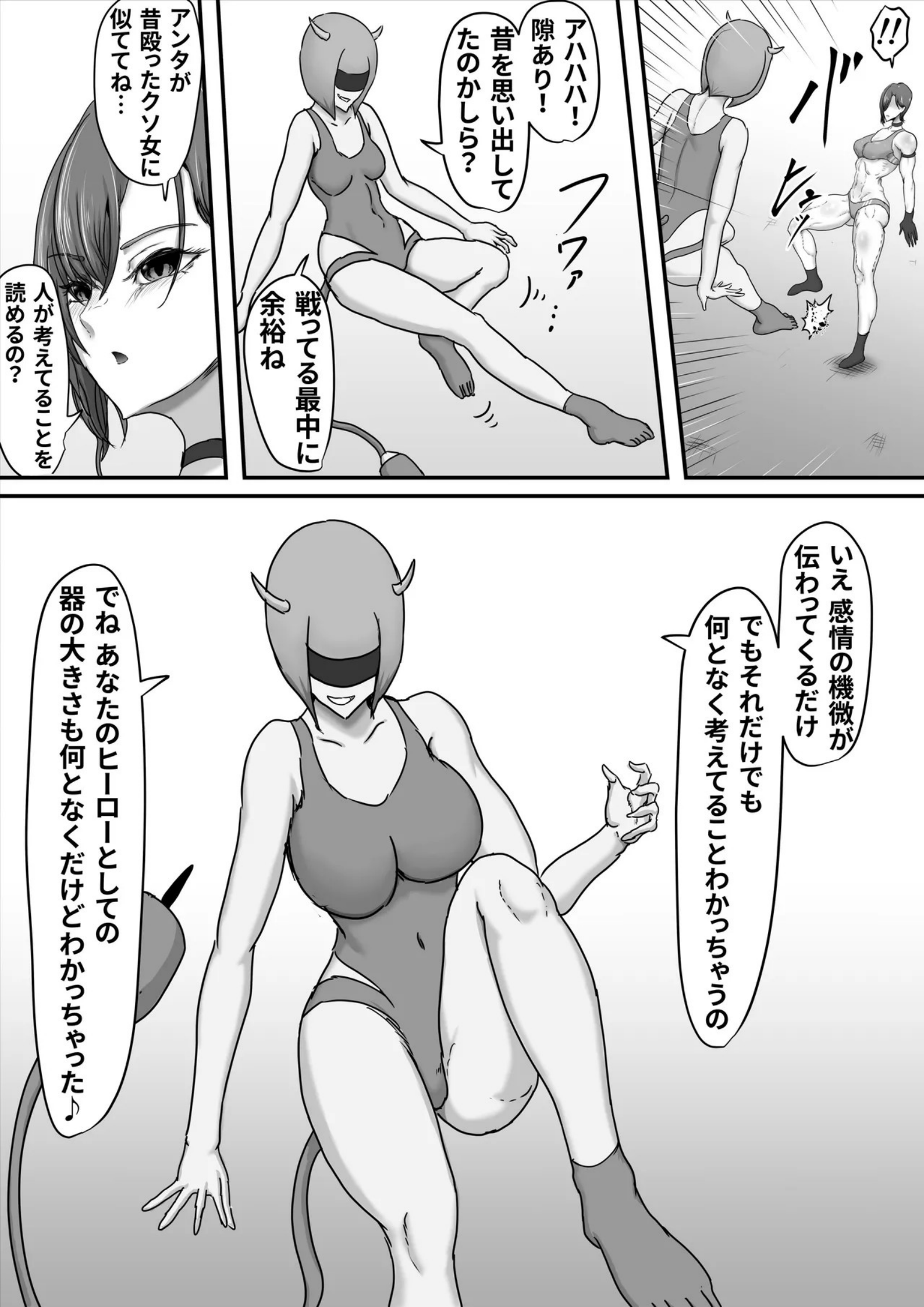
お姉ちゃんの隣に
並び立てるくらい…

もっと強くなりたい！





私は弱い自分を
乗り越えたくて
ヒーローになったんだ!!


!!
バッ
ヒュッ
アハハハ！
隙あり！
昔を思い出してたのかしら？
フワァ…
戦ってる最中に余裕ね
アンタが昔殴ったクソ女に似ててね…
人が考えてることを読めるの？
いえ 感情の機微が伝わってくるだけ
でもそれだけでも何となく考えてることわかっちゃうの
でね あなたのヒーローとしての器の大きさも何となくだけどわかっちゃった♪


怪人のあなたに
ヒーローの器なんて
わかるわけないでしょ
それはどうかしら？
あなたにピッタリな言葉は
“浅はか”ね
自己実現のために
お姉さんを追いかけてる
だけのエセヒーロー
劣等感でいっぱいで
いっつも自分のことばかり
考えてる半端者
マイティウーマンの足元にも
及ばないってはっきりわかるわね♪
あ　ごめん！
図星だったかしら？w


う…っうわぁ…！
煽りまくってる！
次こそ殺されますよ!!
……でも
意外とタフっすね
あの怪人
あれだけ攻撃受けたのに
ピンピンしてるし……
当たり前だ
あのマイティウーマンを分析し
作り上げた怪人……
あやつのベースは
対ヒーローパワー特化型の
戦闘用素体を使っている
わざわざ避けなくとも
そのへんのヒーローの
打撃は通用せんよ
ギャッギャッギャ
…っ！
確実はず
ブッ
ブッ
ブッ


アハハ♪
そんな攻撃効かないよ～
速いけど動きは単純ね♪
ほんっとお姉さんと比べたら…
いちいちいちいち…っ
お姉ちゃんと…
!!


比べるなっ!!


やった…っ!!
これで私の…
ヒュッ
勝…ち…
ドスッ
じゅるっ
!?
くっ…!!
ゲシッ
なに…っ!?
身体に何か…注入された…!?


あはっ♪
!!
バッ
グッ
そんな… 私の全力が効いてない…!?
それに何この感覚… 痛みより全身がうずくような…
カハッ
ヴェノム様が開発した痛みを快感に変えちゃう神経毒よ♪
グ、グ…
!?
あなたのお姉さんも抗えずヴェノム様の手に落ちた
あなたもすぐに私のペットにしてあげる♥
でもその前に
ハァハァ…
随分殴ってくれたよねぇ
やられたことそっくりそのまま返すから
覚悟してね♪
ゾクッ


グッ
…っ
あっ
バキッ
ぐっ!
ああっ!!
バゴッ
あはは♪
どうしたの?w
痛ぶられて感じてるんだ~♥
変態さーん
きもーいw
じわぁ…っ
くっ…痛みがすぐに快感に…っ
少しでも気を緩めたら
意識が飛びそう…
でも私はもう負けない…っ
私は過去を変えたくて…
お姉ちゃんに追いつきたくて
必死に強くなったんだ!


バヅッ
はっ!!
グッグ…
なにこれ…？
何も効かないんだけど…？
てか
さっきよりパンチ力落ちてない？
ハア…
あ…
あぁ……
お姉さんなりに
一生懸命
頑張ったんだよね
もう楽にしてあげるから♪
ドドド


ヤアアア


ヴェノム様…
これはいったい…
ヒーローパワーは
精神力が大きければ大きいほど
その真価を現す
だがヤツにはそれを
支えるだけの器はない
単なる凡人
ねぇヴェノム様～この子
好きにしちゃっていいよねぇ～？
サンプルにすら
ならん未熟者よ
あっ…
ああっ…あ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ジョロ…
ジョロ…
ビチャ
ビチャ
ホカ
ホカ
ピチャ…
ピチャ
ピチャ


ズッ
うっ！
じゅ～っ
うふふ
あなたにいいもの
見せてあげる
熱い…
また身体に何かを…っ
な…
なにこれ…!?
これって男性の…
むくっ
ぐぐぐぐぐ
むくっ
うふふ　いいでしょこれ
ボーイッシュなあなたに似合うと
思ってはやしてみたわ♥


そんなに嫌な顔しないでよ♥
くっ…
なでなで
さぁ私に身体をゆだねて♪
ニチッ
ニチッ
ニチッ
触るな！
ニチッ
ニチッ
これをこうやって擦って～♪
ピッ
ピュルッ
玉ももんじゃおっ♥
やめっ…！
もみ
もみ


どう　初めて
ちんぽ　しごかれるの
グブブ…
くっ…
ビクッ
ビクッ
ぐっ…！
きっ
ピュッ
ニュチッ
ニュチッ
ビクッ
ビクッ
我慢汁
たっくさんでてるよぉ？w
敏感なのね♥
あっ　大丈夫♥
こっちもいじって
あげるからね♥
クチュ
クチュ
グチュ
んんっ!!
だめ…
ハア
ハア
ハア
何か込み上げてくる
何…この感覚っ!?


イくっ——!!
ビッ
ビッ
ビッ


今まで味わったことがない快感…っ
頭がチカチカするっ！
はいお尻突き出して
お仕置だよっ
あっ！
あぁっ!!
あぁんっ!!
私みたいな新米怪人に負けちゃったんだもん
ほら　イけイけっ♥
ヒーロー失格♥
私は強くなるために今までたくさんの努力を積んできた…
なのに……
あんっ!!
あぁっ!!


あっはは！
何も出来ない
ザコお姉さ～ん♥
私みたいな生まれたての怪人に
好き勝手されて
恥ずかしく無いのかなぁ？
あっ…
なんで…こんなふざけた怪人に
手も足も出ないの…
あぁっ…
ハッ
ハッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュルルッ
ビュッビュッ
ビクッ
ビクッ
トロォ…
ビクッ


うわ～w
凄い顔してる～w
まぁ何度も射精イキしたら
そうなっちゃうよね～
ハァハァ
ところで
ヒーローパワーって
便利よね
どこからか供給されてくる
決して尽きることのないエネルギー…
私たち怪人からしたら勝ち目もないわ
でもそのエネルギーを
ずっと吐き出し続けるように
すればどうかしら？
その供給されたパワーも
使えなければ意味が無いわ
あなたを永久に快楽漬けにして
ヒーローパワーを使えなくさせてあげる


ヒュッ
ズバッ
!?
うふふ
準備完了…っと♥
ハァ
ハァ
ゴゴゴゴゴゴ
ムクムクッ
私もはやしちゃった♥
これで私たちお揃いね♪


これでもっと
あなたをいじめられるわ♪
なにあれ…
あれを私の中に
挿入れる気なの…？
や…やめて…
ニチ
ニチ
すっ
すっ
ズクッ
ズクッ

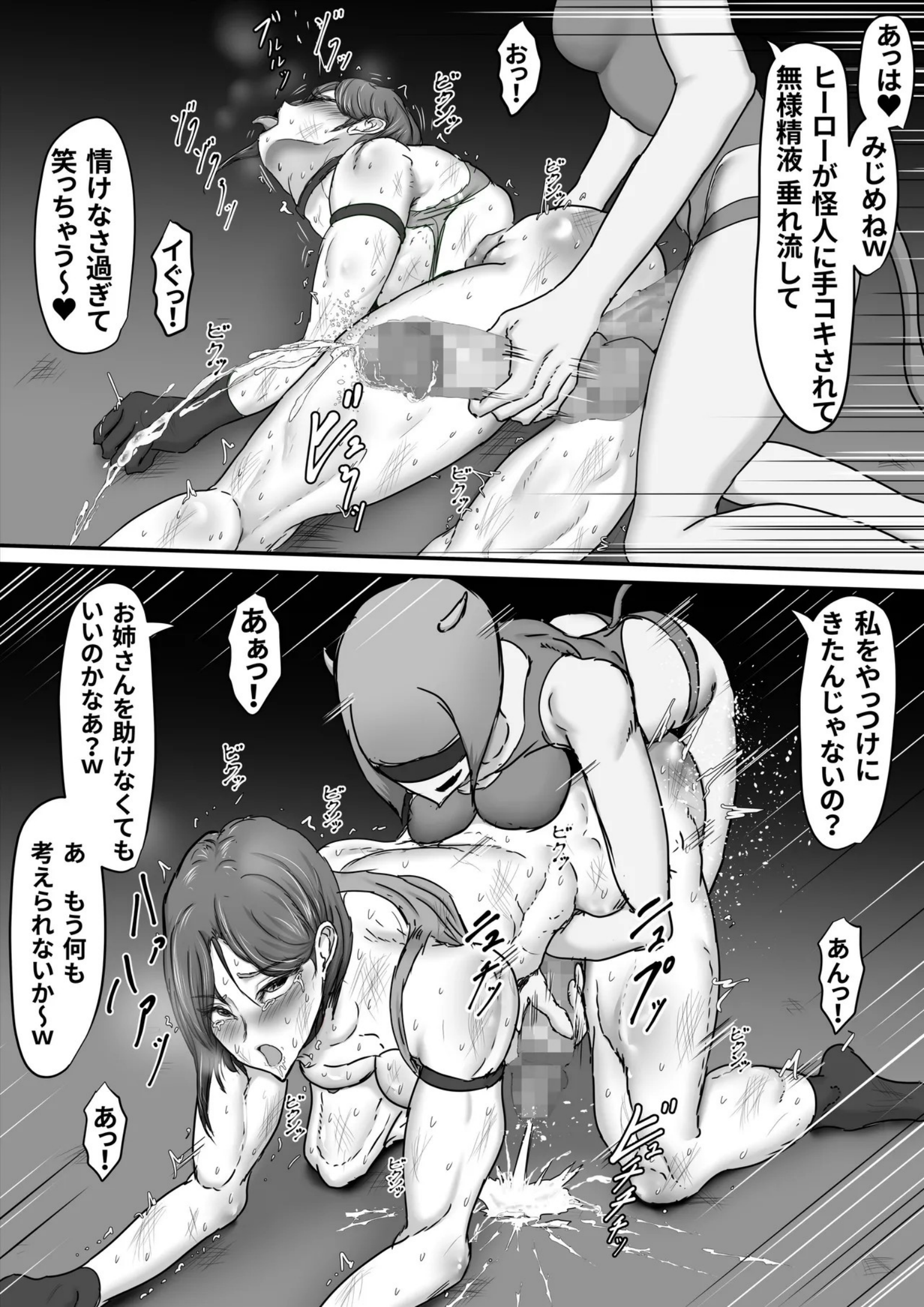

突き上げて
めちゃくちゃにして
あなたを従順な
タダのメスにしてあげる♥
ズブ…
あああっ


あはは
面白い～♥
ズブッ
ズチュッ
ズブッ
ズチュッ
ズブッ
自分の精液顔にかかってる～
こんなコケにされても怒らずに
感じちゃってるの？
変態雑魚メス
おねぇさ～ん？w
ああぁあっ
ああああぁあぁあっ
ドポッ
ドポッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ああああっ
あっ
あっ
お姉さん可愛いね♥
もっといじめたくなっちゃう～♥
あぁっ！
あ 今めっちゃ野太い声出たね♥
おおっ!!
私に種付けされたいってわかるよ♡
あんっ！
もう私もちょっと射精てる…受け止めてね♥
全部…絶対に…気持ちいいから！


ビュ
あはっ♥ 射精てる♥
いやぁあああっ!!
ボビュッビュッビュッ
ゴキュッ♥
ゴキュッ♥
ゴキュッ♥
雑魚メスよわよわ
ヒーローに射精しちゃった♥
感謝して飲んでね…
私のつよつよ怪人精液っ♥
お姉さんも
いっぱいだしたねぇ♥
でも…まだやれるよね?
ヒーローパワーは
無尽蔵なんだから♪
あっ…
あぁっ…
ハーッハーッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビュッビュルッ
おっ…
プシィッ
ビクッ
ドロォ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ


あぁっ
突くたびに射精してるw
あぁ！
いっぱい感じてるんだね♥
んんん!!
ほらもっと♥もっと♥
あぁっ
あへっ
ビュルッ
ビュッ
ビュッ
ビュッ
もっと…
あぁっ
もっと…すっきりしたいっもう他に考えられない！
射精したい!!


あっは♥
みじめねw
ヒーローが怪人に手コキされて
無様精液 垂れ流して
おっ！
ビクッ
ビクッ
ビクッ


負けちゃえ
能無し
雑魚メスお姉さん♥
もう
ヒーローやめて
私のオナホ転職
してよ♥


プライド高い雑魚ヒーロー
いたぶりながら中出し…
さいっこう～♥
おっ…
ドロォ…
おおっ
しかも お姉さんのマンコ
キツキツで
やみつきになっちゃう～♥
んんっ…


ほら起きて♥
ガッ
チン嗅ぎして
臭いにあてらちゃって
お姉さん
またフル勃起しちゃってるよ♥
むわぁ…
本当変態さんだね♥
ハア…
ハア…
あぁっ…
あ…
ギン
ギン


あっ！
そういえば…
そのチョーカー
気になってたの！
負け犬の首輪みたいで
ずっと似合ってるって思ってた!!
リード付けて
あげるから
私に貸してよ
……っ！


だからお姉ちゃんには
関係ないじゃん!!
私はヒーローに
なるって決めたの!
美香(みか)…
私は本当は
あなたがヒーローに
なることを望んでないわ
でもあなたが
決めたことだものね…
同じ道を
歩むものとして
私からの贈り物よ
飾り気は無いけど
身に着けてくれたら嬉しい
ずっとそばで見守ってるから
あの時…お姉ちゃんに
認められたような
気がして私は……


そして誓った
絶対にお姉ちゃんの期待に応えてみせるって……
ピチ…
ピチャ…
もう弱くて泣いてた頃の私じゃない…！
このチョーカーはお姉ちゃんとの絆…そして私の覚悟の証…!!
絶対に触れさせない…っ!!
絶対に…っ!!


ドド
ドド
ドド


絶対…に…
ガクッ
ビュルルッ
ズゴッ
あれ～？おかしいなぁ～？
あっ…
ずいぶん痛めつけたんだけど
あぁっ
ゴッ
ビクッ
ビュルルッ
ビクッ
おっ
まだ教育が足りなかったかなぁ～
うっ


まぁいっか♪
もうちょっと
反抗してくれた方が
楽しみ甲斐あって♪
あれ～
なに顔隠してるの～？w
ハア
ハア
ハア
あ…ダメだ…
思い出しちゃう…
ふざけんな
テメェ!!
何度抵抗しても
嘲笑われて
さげすまれて…
何やっても無駄だって…
はぁ？
なにコイツw
あの頃と同じ
この感覚…
結局 昔から私は…
何も変わってなかったんだ…
私は…ずっと弱いままだったんだ…
グッ
グッ
うっわ～w
泣いてるんだけど
ウケる～w


あっはは
お姉さんどうしたの～？w
すっごい
悲しみが
伝わってくるよ？w
あんっ
あっ
ハッ
ハッ
ハッ
私にコテンパンに
されてそんなに
ショックだったのかなぁ？w
あっ
はいお仕置きの
お尻ペンペンw
悔しいよねぇw
ああぁんっ!!

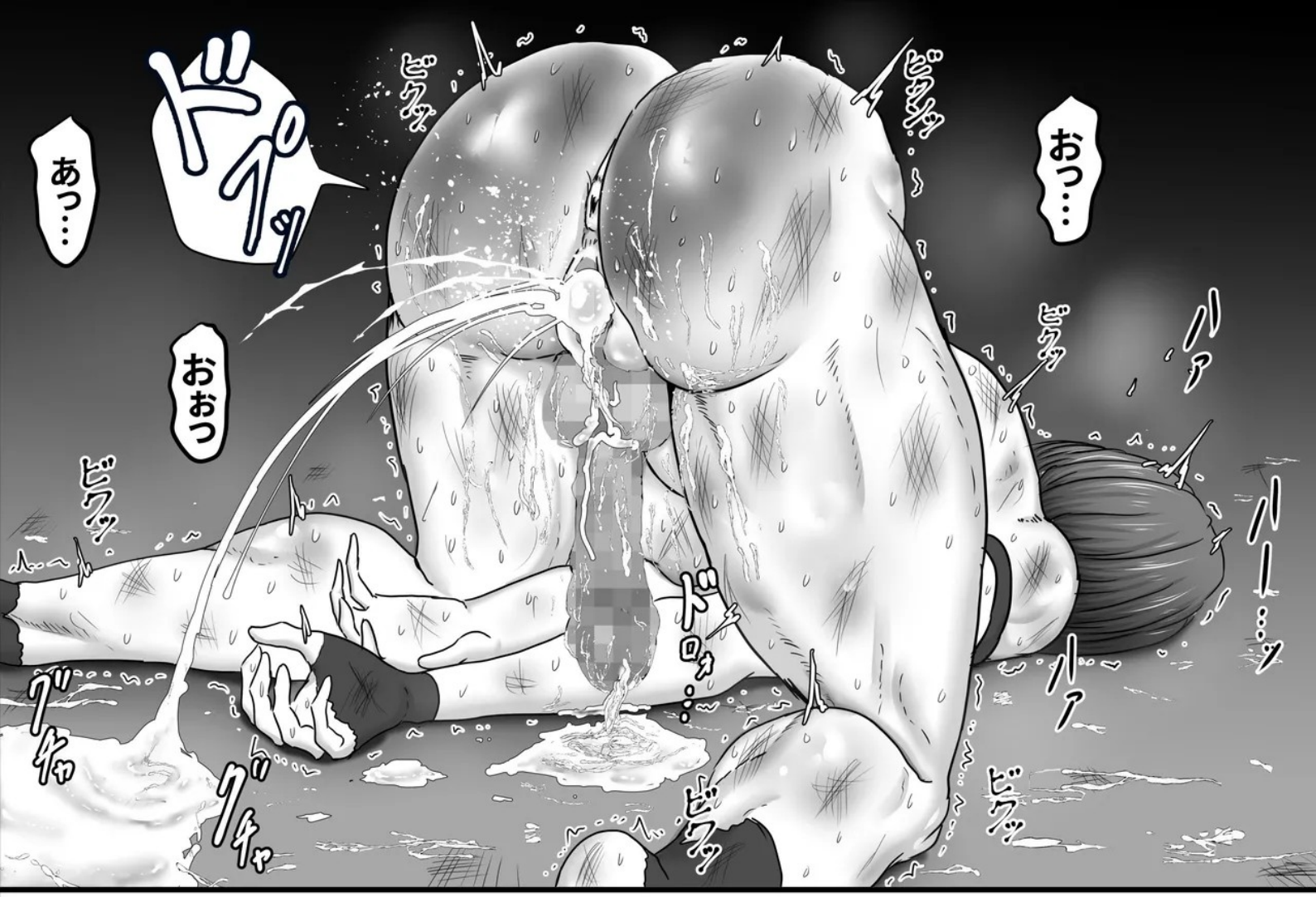

ブチィッ
あっ
ごめん♥
ちぎれちゃったぁ！
新しい首輪
あげるから
許してね♥
ビィィィッ
あははっ
似合ってるw
似合ってるw
あ…っ
ハァ…
ハァ…
さっきの
クソださチョーカーより
100倍イケてるよ♥
お姉さんw
あぁ…っ
あぁ…っ


言って♥
私はチェルシー様に
負けた雑魚ヒーローですって
自己紹介して♥
私はチェルシー様に負けた
雑魚ヒーローですっ
私はヒーロー失格ですっ
ずっと弱いまま
だったんですぅっ！
何も出来なかった…
私は…負けたんだ…
うぅうっ
ううっ
うううっ
あぁ…心の奥底にあった
弱音が次々と出てくる……
グッ…
グッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
グチュッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ハァッ
ハァッ


私ごとき出来損ないが…っ
チェルシー様に勝てるわけ
なかったんですっ…うっ…！
ああっ
いいね♥
自分を責めて卑下すると
胸締め付けられて
気持ちいいでしょ？
マゾメスになった
証拠だよ♥
ビクッ
ビクッ
んんっ
グッグッ
グチュ
メギッ
あぁんっ
ビクッ
ずっと強くなろうと
頑張ってきたんだよね
それなのにこんな新米怪人に
負けちゃって雑魚虫すぎてかわいそ～♥
ズブズブ
グッ
やってきたこと
全部無駄だったね♥


いやぁっ！
ビクッ
ビクッ
ビクッ


ほら　イけよ♥
役立たずの
ザコヒーロー♥
おぉおぉっ♥♥♥


おっ…
ビクッ
ビクッ
ドプッ
あっ…
おおっ
ビクッ
ハァ
ビクッ
ハー…ッ
ハァ
ドロォ…
ビクッ
グチャ
グチャ
ビクッ


何へばってるの？
も…
もう許して…
ハー…
ハー…
やっと大人しく
なったんだもん
これからが
お楽しみじゃない♥
じゃあとりあえず
あと百回射精するまで
イってみよっか♥
あ…
あぁ…


助けてえええええ!!
いやぁっ!!
助けてぇえ!!
お姉ちゃあぁん!!
もうイキたくないっ!!
ああっ!!
完全敗北♥
スプリントガール・ミカ
お姉ちゃあああんっ!!
口ほどにもなかったわね♥
お姉ちゃあああんっ!!
ビクッ
ビクンッ
ビュッ
プシャッ
グチャ
グッ

■作者　ひなえろん
■X　@hinaeron
■Mail　hinaeron@gmail.com

あとがき

このたびは本作品をご購入いただき
本当にありがとうございました！

前作も公開直後から、ありがたいことに多くの感想や応援の
メッセージをいただきました。とても励みになります！
ありがとうございました！

今回はマイティウーマンの妹のお話でした。
人を寄せ付けないような怖い見た目に反して、
完璧な姉と比べていつも落ち込んじゃう劣等感いっぱいの健気なヒロインです！

「弱い自分を変えたい！」と
完璧な姉を目指し自己実現のためにヒーローになりましたが、
そんなヒーローとして甘すぎる中途半端なプライドと志は
メスガキ怪人によってあっけなく
へし折られて粉砕されてしまうのでした・・・。

相手の怪人はその劣等感を逆撫でにするようなキャラにしたいと
思っていたのでメスガキ怪人「チェルシー」は適役だったと思ってます！

もし良かったらレビューや感想を書いていただけると
次回作づくりの参考や励みなります！
ぜひ一言でも書いてくださると嬉しいです！

続きの展開も是非ご期待頂ければと思います！
ではでは！

